

重点取組名	水田農業ビジョン実現へ向けた農業生産法人の育成
普及活動担当	宮城県仙台農業改良普及センター地域農業班，農業振興課
主要な活動地域・対象農業者	黒川郡大郷町 有限会社〇（構成員5名）
取組結果・成果 <取組のねらい>	<p><取組のねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援対象である(有)〇は，平成11年度より農産物の仕入れ販売会社としてこれまで経営を行い，生産面では構成員個々がそれぞれ受託作業をしていた。 ・そこで，当課題では，平成17年度に施設(ミニライスセンター)を整備し，農業生産法人として経営(面積41ha)を確立し，ブランドとして生産販売し，地域の核となる担い手へと育成するための支援を行った。 <p><結果・成果></p> <p>水稲特別栽培の管理の徹底支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農薬・化学肥料不使用栽培米と農薬・化学肥料節減栽培米の水稲生育調査を行い，適期管理の徹底について支援した。法人では，2.7haの農薬・化学肥料不使用栽培米を生産した。水稲生育調査の実施により，農薬の使用状況等の栽培の違いがデータとして得られ，これを基にして適切な管理を行うことが出来た。 <p>米の乾燥調製施設建設支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニライスセンター一式の導入に向けて，利用計画の作成や，農業改良資金等農業制度資金活用について支援した。これまで構成員が個別に所有していた乾燥機を一つにまとめ，法人の生産拠点となるミニライスセンターを整備した。その結果，今年度の経営面積は目標である41haに達した。 <p>安全・安心な農産物の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず，地域に根ざし，安全・安心な農産物を提供する法人となるため，これまでに進めてきた特別栽培米の生産に生き物調査の手法を取り入れる試みを行った。この取組は，消費者の子供達を巻き込んで行き，安全・安心な米づくりのPRの良い機会となっている。この調査は3回実施し，報告会を開催した。法人は生きもの調査の手法を学び，平成18年度からは主体となって進めていくことになっている。 ・この他，特別栽培米の販路拡大のため，県内の食品業者等を対象にした「食の安全安心に関する交流会」を企画開催した。さらにこの内容を基に，管内の特別栽培米の取組事例，「みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度」を紹介するパンフレットを作成配布した。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から販売開始したマルチ用稲わらの販売や米の販売促進チラシの作成を支援した。
連携機関，協議会等	大郷町農政商工課，あさひな農業協同組合
取組の特徴や取組に際しての工夫	対象法人の目指す点は，地域の核となる担い手となり，経営面積を増やすことと法人の利益増進である。そのバランスが崩れないよう，食の安全安心に的を絞って活動を支援してきた。 また，施設導入にあたっては，制度資金の活用に努めた。
【参考】	